

# 「清水勇人市長と語る」タウンミーティング【南区】

## 〈開催概要〉

日 時：令和5年7月29日（土） 9:30～11:00

会 場：武蔵浦和コミュニティセンター 8階 第7・8・9集会室

参 加 者：17名（傍聴者0名）

市出席者：市長、脱炭素社会推進課

事 務 局：市長公室秘書広報部広聴課

開催テーマ：地球温暖化対策について考えよう ～みんなでアクション とともに未来へ～

### 参加者との意見交換

#### ●参加者

##### ＜発言1＞

今回参加するに当たり、さいたま市が今やっていることについて、第2次環境基本計画を勉強しました。読んでいて思ったのが、みんなでアクションということで、皆が参加しなければいけないということで、環境教育に関してまだできることがあるのではないかと思います。今現在まで小学校、中学校の環境教育については、成果を上げていると思うのですが、一方、高校、大学の環境教育については、目立つ打つ手がないように思います。なので、今後地域のリーダーになるような高校、大学の子どもたちに対する環境教育、こちらを何かできないかということで、例えば市から具体的に解説してそれについてさいたま市内の高校生にも考えていただくような、環境に関するビジネスを提案してもらうような企画をさいたま市中心として今回ネットワークを結んでいる埼玉大学や芝浦工業大学と連携して進めていけば、高校、大学レベルの環境教育についても手厚くできるのではないかと思います。

##### ＜発言2＞

環境問題というのは、本来水と空気と土の問題、これがベースだと思います。さいたま市は川があり、畑や田んぼといった自然に恵まれていますから、できるだけこれを維持していけばよいのではないかと思います。それに合わせて生態系を守ることが大事なのではないかなと思っています。ですから、開発はなるべく抑制していただきたいです。開発して大きなビルを造れば、まちがよくなったように錯覚しがちですが、必ずしもそれはよいことではないと思っています。

それから、さいたま市の計画に関して言いますと、資料に書かれているのは物的なもの、施設とかそういう問題ですが、もっと大事なことは市民の意識をどう変えていくか、ということだと思っています。ですから、こういう計画があること自体私はあまり認識していませんでしたが、こういうものを市民にきちんと伝えていただきたいです。広報で情報を流したからそれでよいということではありませんし、広報もある程度繰り返しやっていただきたいです。そして、さいたま市の取組状況についても伝えてほしいです。それを基にして市民の皆さん方も協力してほしい、そのように訴えてほしいと思います。

その伝え方の1つとして私が住んでいる団地では、少なくとも月1回は清掃をやり、自治会や管理組合があります。そういった場を通じて、さっき言ったような情報の提供と協力、こうしてほしいということをきちんと発信してほしいなと思います。そういうことをやることで、少しは浸透していくのではないかなと思います。ただ広報紙に掲載しました、それでおしまい、ではないと思っています。

### < 発言 3 >

これは去年11月の朝日新聞の記事ですが、8人乗りの新しいロープウェーという構想です。まだ開発中で、モデル段階ということですが、普通のロープウェーと違い、真っすぐ進むだけではないものです。

記事によると、ロープは張るもののゴンドラ部分をロープに固定していくのに1台1台に電気モーターをつけて自走できます。そしてカーブや分岐も自在で利用者の増減に合わせて調整でき、道路の中央分離帯などを活用して、ロープとポールを建設すれば運用ができます。用地買収や掘削工事も最小限で済むため、工事や建設コストが安く、鉄道の10分の1ぐらいできると書いてあります。これは今日のテーマである、環境の負荷が低いのが1つと、夢のある近未来の乗り物だと思います。実現可能性は未知数としても、さいたま市が検討していると発表すれば、他市や人々が夢のあるさいたま市というイメージを持ってもらえるのではないかと思います。

ロープウェーの設置場所の素案を、私が作成しました。ざっくり言うと、交通の便のよくないところ、2つの病院や、プラザイースト、プラザノース、プラザウエストは不便ですよ。それらと、それ以外の区役所と県庁をつなぐ環状線にすれば面白いのではないかと思います。道路の交通量を減らすとともに、市民がこれまで行きづらかった場所に行けるようになります。区役所、市役所、それから県庁の人的交流を活発にできます。更に、一番大事だと思うのですが、大宮、浦和間の草の根レベルの交流を増やして、悪名高い対立をなくす方向に導けるとと思います。清水市長は今大宮にお住まいですが、以前浦和に住んでいたこともあと聞いています。この問題、20年を機に何とか交流を高めてなくすことができると思っています。

そういうことで、この夢のある乗り物、曲がれるロープウェーというのを少しでも調べて検討していると発表すれば、各地から注目を浴びることができるのではないかと思います。

### < 発言 4 >

地球温暖化の話は、国とか自治体とか企業の活動が流れを決めるという非常にスケールの大きい話だと思います。そうした中で、さいたま市はSDGs未来都市に選定されたということなので、さいたま市の活動については今後大いに期待しています。

そうした中で、個人に限って身の回りの問題に限って考えると非常にスケールの小さな話になってしまうのですが、今日ここでは食品ロスの問題と生ごみの処理の問題について話をさせていただきます。

私は今ボランティアで子ども食堂の活動をしているのですが、シングルペアレントなど非常に生活に困窮されている人たちの生活は、この物価高の中で非常に厳しい状況にあると思っています。そうした中で、フードバンクや子ども食堂でそういった方たちの支援をしているのですが、必ずしもその活動が細かいところまで行き届いてない、満足できる状態にはなってないと思います。

例えば食料の持込みを有志の方をお願いするにしても、いろいろな制約があって、例えば消費期限が2か月以内のものはだめとか、生鮮食料品の取扱いについても満足に行き届いてないといった問題があると思っています。

あとその活動は、ほとんどNPOの活動として行われていますが、NPOの活動についても経験不足のところがあって満足にできていない状況があると思っています。

あと生ごみの問題ですが、生ごみは今可燃ごみとして処理されていますが、電気乾燥機の生ごみ処理というのがあります。これは家庭で電力を使って乾燥させて、その処理についても問題があることについて、十分周知できていないと思っています。生ごみのコンポストなど、微生物で分解するようなものを使用すれば、環境にも優しいのではないかと思います。

#### <発言5>

家庭でできる温暖化対策についてですが、食品ロスですね。コンビニエンスストアでは手前取りというのがあります。値段が5%安くなりますよと値札がついています。できるだけ手前にあるものから購入して消費していただけたらと思っています。

それから、一番問題なのは、紙おむつです。10トンの紙おむつを処理するに当たって、工業用水でなくて水道水で100トンの水を利用して処理しているそうです。そういうルールがあるようです。

それから、チャレンジスクールに携わっている関係上、学校のエアコンについてお話しします。5年程前から相談しているのですが、私の地域の小学校の体育館に直結する大会議室にはまだ設置されていません。各教室には入っているようなのですが、大会議室や講堂とかに入っていないものですから、こちらにもつけていただくことを検討してください。

#### <発言6>

まず1番目は、ごみの収集で今日資源ごみの回収方法に関する啓発品を配っていただきました。これを早めにやってほしかったのですが、資源ごみは、今2割から3割となっていて、全国の市町村で戸別収集をしているところが多いです。また、戸別収集にすることで資源回収に関する意識が非常に向上しています。具体的には名古屋市、それから神奈川県の大和市や平塚市の回収率が大変高いです。そこを調べて環境局に提案し、検討しますとは言っていますが、ぜひ市長に音頭をとってもらい、私も市議会にも働きかけたいと思います。今はステーション方式で行っていますが、戸別収集という基本線で進めてほしいと思います。私は海外も見ていますが、ヨーロッパやアメリカは進んでいますし、日本でも進んでいるところはたくさんあります。それをさいたま市も拒否するだけではなくて、全員にアンケートをとるなどして、ぜひ研究してください。

2番目は、木を大事にしてほしい、ということです。私の家の前は遊歩道なのですが、フユやネズミモチなどの木があり、いろいろな鳥も飛んできます。私が保持するから切るなど市に言い、今やっと3メートル弱、2メートル半ぐらいに伸びてきました。GPSから見てもそこがばあっと緑になっているというぐらいで、実際非常に涼しいです。2都心・4副都心地区みたいなことだけでなく、そこを結ぶ線、私のところは田島遊歩道なのですが、その桜の木は切らないでほしいのです。一時期虫が多いと、電話したときに言っていました。そればかりではないと思います。今毛虫なんか見たことないです。毛虫に会いたいぐらいです。

ですから、ぜひ木を切らないことと植えるということをしてほしいです。旧大宮市では、大木に対して番号をつけていました。私の家のそばでマンションを造ったために大木が一本切られたことがあり、私はじっと涙目で見えてさよならしましたが、そのぐらい大事にしてほしいです。一本一本をこれから植えるのには何十年もかかるのですから、可能な限り道路を壊してでも木を植えてほしいです。ヨーロッパあたりには事例があります。道路に木を植えることで、スピードが住宅街なんか出ないです。清水市長も海外へ視察に行ったと思いますが、曲がっていけばよいわけです。さいたま市でも同様に木を植え、それに合わせて電柱を置いていくとよいと思います。

3番目は、清水市長は素晴らしい自転車の競技を招致しましたが、私も自転車が大好きです。多くの人たちが自転車を利用する、自動車は少しずつ減らすという動きになれば、これが環境につながっていくのではないかと思います。

### < 発言 7 >

先ほどフードバンクのことをお話いただいて、今から話すことはほとんど同じことですが、SDGsの観点から、また地球温暖化のことからもごみを捨てることで二酸化炭素が出るので、家庭ごみを減らしていくのは大事だと思います。

今日は面白い本を持ってきました。「捨てられる食べものたちー食品ロス問題が分かる本」です。これは2020年に出た本ですが、日本の食品ロスは年間612万トン、毎日一人がおにぎり一個分を捨てている計算です。食べ残しなどのごみを処理するために一キロ当たり56円かかるということです。先ほどフードバンクの話で、さいたま市内にもフードバンクの仕組みがありますが、まだまだ多くの方は利用できていないのかなと思います。もっと皆が使いやすいように取組を進めていくとか、あと京都市の事例ですが、京都市は平成12年から平成30年の間で食品ロスを4割減らすことができたらしいのです。具体的にどのようなことをやったかという、「生ごみ3キリ運動」というのをやって、まず食材を使い切りましょうと、ごみ捨てる時生ごみの水切りをきちんとしましょうと、食べられる分だけ食事も食べきる、それで3キリ運動というのをやっているらしいです。まず食品ロス問題に皆で「生ごみ3キリ運動」を身近に始める地球温暖化対策、SDGs対策ということで行い、それで最近今年の5月にさいたま市で、スポgomいというプロジェクトを始めましたよね。それで大宮公園の清掃をやったと思うのですが、そういったのもっと皆に知ってもらったらよいと思います。特に年配の方には万歩計を渡して、歩くことでマイレージがたまって景品と交換するチャンスがありますよというのがあります。そういったものもスポgomいの活動とマッチさせればもっとももっとよくなると思います。

### < 発言 8 >

地球温暖化に対して、言えるのは二酸化炭素を中心にした考え方は1つの考え方で、もう1つは太陽から来る熱が一番大きいのです。これをうまく反射して地球から取り除くのが一番効果的です。イーロン・マスク氏は成層圏に雲をつくることをテストし始めたりしていますが、あまりにもスケールが大き過ぎて、他所の国にも影響してしまうだろうと問題視されていますが、目先の話とすれば白いものを使えば太陽光をどんどん反射できます。そのためには屋根を白くするのがよい、白い車を使うのがよいと、先日インターネットで出ていましたが、地球上というか、大地の1%で太陽光を反射すれば温暖化が防げると書いてありました。陸地の1%といたらかなりの大きさですが、少しずつでも、車は白い車を買うようにするとよいと思います。他の車よりも高い場合がありますが、他の色の車と同じ値段で買えるように補助を出してくれたらよいと思います。

それから、学校の屋根や体育館はぜひ白くして、1年中太陽を反射させることはそれほど費用がかからずにできるのではないかと考えています。よろしく御検討ください。

### < 発言 9 >

3つお願いがあります。

1つは市長の話にありました熱中症ですが、今や国連ではもう地球温暖化ではなく、地球沸騰化だというお話がありました。特に高齢者、子どもにとっては命に関わる問題です。家については断熱を推進し、そして外においては、先ほど木を植えるという話がありましたが、高齢者が何百メートルか歩いたら休めるような日陰つきの場所をつくって、子どもと高齢者の命を守る対策を優先していただきたいです。

2つ目は、市民全体で対策を進めるには自分たちがやった成果が見えるようにしないとイケないと思います。温室効果ガスの排出量というのは、2年ほどギャップがありますので、例えばさいたま市内の電気使用量のような比較的短期間で成果がわかるようなものを

ぜひ電力会社と協力して、指標として検討いただきたいということです。

3つ目は、市長の話にありましたように、さいたま市には全国の1%の人口がいて、更に人口が増えています。そして温暖化の中で削減が難しい業務系、生活系が中心であることを考えますと、さいたま市で温暖化対策がカーボンニュートラルに向けてできるかどうかは日本の試金石であり、非常に注目をされています。こうして市長を中心にやっていますが、今まで以上に市長を中心に、さいたま市から日本の温暖化対策を引っ張るぐらいの気持ちで進めていただきたいなと思います。

#### <発言10>

地球温暖化の対策として二酸化炭素を削減するのを目標にしていたと思うのですが、二酸化炭素は、温室効果性はそんなに高くないのです。その他のフロンなどの方が温室効果性は高いので、そちらの物質を削減するようにお願いしたいと思います。

#### <発言11>

重点的に地球温暖化対策として取り組んでほしい分野として、自分は自転車利用の促進を挙げます。さいたま市全体としては、傾斜度が低くて平坦な地形ということからも他の自治体と比べて先行して推進したらよいと考えます。

私は普段自転車を利用することが多いのですが、特に大宮駅前で駐輪場の不足が見られます。自転車と公共交通の組合せが広がることで自家用車の利用の削減にもつながることからも、駅前に駐輪場が増えてほしいなと思います。

また、先ほど健康マイレージというのが出たのですが、これは歩くことでポイントがたまるものですが、自転車の走行距離によってポイントがたまって景品がもらえるというものがあつたらよいなと思います。

こういった日々の生活の快適さを向上させながら、地球温暖化対策に貢献できる取組がさいたま市としては必要かと思いました。

### ◆市長

#### >>発言1

環境教育が非常に重要ではないかという御指摘をいただきました。特に小中学校レベルではエコ検定を含めていろいろ取組をしているが、高校、大学レベルの教育を更に拡充すると、環境ビジネスの提案であるとか、様々な政策提案など自ら考えさせて提案をさせるという取組の御提案をいただきました。

小中学校は比較的義務教育の中でエコ検定であるとか、あとSDGsについても今各学校で取り組んで、それぞれ自分たちに何ができるかということも含めて検討、考える機会を各学校でつくっていただいているところですが、御案内のとおり、確かに高校、大学については、少し弱いように思います。

現在、さいたま市の市立高校というと3校とプラス中等教育学校が1校ありますが、日本全体としてアクティブラーニングという方向性になってきている中で、高校生などにも参加をしていただいて考えていく機会というのはすごく重要だと思っています。

1つの例になりますが、昨年さいたま市では初めてさいたま市主催の国際会議をカーボンニュートラル、脱炭素をテーマに行いました。その際のイベントで小学生、中学生、高校生に参加いただいて、そしてこの脱炭素に向けて自分たちができることということで、会場でタブレット、パソコンを持ち込んで議論をしながら、そこでまとまった結果をパネルに投げ返して、それをまた議論していく取組をしていただきました。今は教育のやり方が大分変わってきましたので、すごく重要な手法だったことを改めて感じたところですが、環境に関する問題は、特に子どもたちの世代にとっては、まさに自分たちの将来そのものにも関わることでもあろうと思います。この環境についての教育の充実というのはす

ごく重要な視点だと思います。特に高校、大学といったところに今大学コンソーシアムなどでもいろいろなテーマを設定しながら提案をいただいたりもしていますので、そういった機会なども参考にしたいと思っています。

## >> 発言 2

開発の抑制、それから市民の意識をどう変えていくことが非常に重要だというお話をいただきました。本当にそうだと思います。私たち行政で仕組みとしてやるのもあるのですが、市民一人ひとりの意識を、どのようにこの地球温暖化の問題に対する危機感を共有して、そして一緒に取り組めるかが最大のテーマだと思っています。この危機感を市民の皆さんと共有できるようにするためには、様々な手法があると思います。いろいろな形で繰り返し伝えていく、市民にもいろいろ伝えてほしいというお話がありました。私たちもSNS、ホームページなど、こういったタウンミーティングや出前講座などいろいろなやり方でお知らせしているのですが、まだまだ残念ながら十分な意識改革まではできていないように思っています。ここは本当に重要なテーマだと思っています。

## >> 発言 3

曲がれるロープウェーのお話をいただきました。これは非常に夢のあるお話だと思います。1つは、今言ったように危機感も大事ですし、もう1つは未来に向けて明るい未来を創造していくという視点もすごく重要だと思います。私たちも例として挙げていただいたロープウェーも含めて、移動手段をしっかりと確保していくことは、地球温暖化の問題と、あと高齢化の問題と2つの要素があって、大変重要な問題だと認識しています。今も私たちとしてはできれば車から自転車へとシフトしたいと思っています。あとウォーキング、ウォークアブルなシティをつくって、という流れと、あともう1つは車を使うにしてもできるだけ公共交通を使っていただいたり、電気自動車の推進を行っていますが、このロープウェーであるとか、今検討している地下鉄の延伸であったり、LRT（Light Rail Transit：低床式車両の活用や起動・電停の改良による容易性定時性、速達性、快適性などの面で優れた特徴を有する軌道系交通システム）など、コストがかからないやり方で可能な方法なども含めて検討しているところです。さいたま市内のもう1つの視点としては、さいたま市内の方々が市内を循環できる交通体系は非常に重要なことだと思っています。どうしてもさいたま市の場合は、東京の方に縦型につながっていて、なかなか北側には行きにくい、交通のために例えば浦和から岩槻に行くことがそれほど多くないのかなど思ったりもします。そういった交通の中で市民の交流が図られることも非常に重要なことだと思います。このロープウェーのことも参考にさせていただきながら、考えていきたいと思っています。

また、浦和と大宮の対立も、いろいろ御意見はあろうかと思いますが、もう20年たって私としては、大分もう薄れてきていると思っていますし、双方の地域への愛着は、対立性は全くないと思っています。ただ、さいたま市という1つの枠組ができました。この枠組をしっかりと生かしていく、地域内でどっちがよいとか悪いとか取り合いをするのではなく、市全体として発想していくことが重要だと思っています。

よい意味でのライバル意識であったらよいと思いますが、そうでない要素はまだ多少はあるとは思っています。これは今後いろいろな交流を進めていく中で、更になくなっていくものと私自身は考えていますし、信じているところです。

## >> 発言 4

子ども食堂とか食品ロスの問題についてお話をいただきました。今日のテーマ説明資料はエネルギーの問題ばかりだったのですが、食品ロスの問題もすごく大きな問題だと思います。これは環境についても、市民の生活の問題にも大きく絡む大変重要な問題だと思っています。

その中で、生鮮食品の難しさや、消費期限の問題、NPOの活動が限界など、いろいろな課題があるという御指摘をいただきました。私たちも子ども食堂やフードバンク、それからフードパントリーの皆さんともいろいろな情報交換をさせていただいています。ごみの中で食品の占める割合が非常に高いのです。それによってごみの量も当然増えていますし、特に渴ききってない生ごみは、当然焼却に必要なエネルギーの量も非常に多いこともあって、そこは非常に重要です。例えばさいたま市では「Saitama Sunday Soup」という、日曜日には冷蔵庫にある食材を全て使って、スープを作って家族皆で団らんしましょうという運動を行っています。また、「チームEat All」というこれは民間のいろいろな会社も含めて、食べ残し、食品ロスを防ごうということで、いろいろな企業の皆さんにも参加をしていただきたきながら進めさせていただく活動もしています。

いずれにしても、非常に重要な視点であろうと思います。できるだけいろいろな課題を乗り越えながら更に進めていきたいと思っています。

また、コンポストのお話も出ました。コンポストについて言うと、1つ大きな課題は、コンポスト（堆肥）にした後の処理の問題がかなり大きな課題としてあります。どう活用していくのかということや回収施設のコストの問題もあって、なかなか実行ができない状況です。

そういったことも含めてどうやったら課題を乗り越えられるかを考えていければと思います。

## >> 発言 5

エアコンの話がありました。今体育館については、あと2年ぐらいで全ての中学校の体育館にエアコンが入る予定です。それから、小学校については、非常に多くの財源が必要になります。さいたま市は全国に先駆けて小学校の普通教室にいち早くエアコンを導入しましたが、特別教室や体育館には入っていません。緊急防災・減災事業債、緊急防災のために使える債権を発行するやり方があり、これは国からの負担が大きくて、市が借金しても市の負担分が少ない債権なのですが、それを5年ぐらい延長してもらえないかという要望を、国に対して積極的にやっています。全ての小学校に設置するには、5年ぐらいかけてやらないといけませんので、その期間に緊急防災・減災事業債が活用できると、更に推進ができると考えています。それができない場合も一度にはできませんが、計画的に実施していく方向性で今進めています。

## >> 発言 6

ごみの戸別収集の御意見をいただきました。それから、木を植えることをもっと積極的にやるべきだというお話、それから自転車の活用という3点をいただいたところです。戸別収集についても検討しているところですが、現在高齢者向けの方々に対しては、戸別収集をしています。これもコストの問題も含めて詰めていかなければいけない問題があると思っていますので、そういったことも含めて、戸別収集、それによってもたらされる効果も含めてしっかりと考えていきたいと考えています。

それから、木を植えることについて、今回はあまりそういったことのお話をしませんでした。排出を抑える側だけではなく、二酸化炭素を吸収する側も充実させないとゼロカーボンシティになることは非常に難しいと思っています。緑を植えていくグリーンインフラの充実をしっかりと図っていくことは、非常に重要だと考えています。これについては積極的にやっていきたいと思っています。

また、街路樹の問題などについては、市民の皆さんに理解をしていただくこともあわせて必要だと思いますので、丁寧に市民の皆さんとお話をしながら詰めていきたいと思っています。

自転車についても、さいたま市は駅までの自転車の利用率が全国第1位なのです。地形でも平坦なところが多いこともあって、自転車の活用を増やしていこうという大きな目標

と、あわせて自転車レーンを10年間で200キロ整備する目標があります。これはおおむね達成ができて2段階目の計画策定作業に移っていますが、自転車に乗ることで健康になってもらう、楽しむ文化もあわせて推進しようということで、自転車レースなどもさせていただいています。おかげさまで週に1回スポーツをする人の割合の中で、自転車によってそのスポーツをする方々も非常に増えてきて、およそ20年前は週1回以上スポーツする市民の割合は28.5%だったのですが、去年度は69.9%、その前の令和3年度については70.6%でした。私たちも70%という大変大きな目標を掲げてスタートしたのですが、結果的にはそれが実現できました。期限としていた令和2年度には66.6%までしかいかなかったもので、少しずれましたが、おおむね達成できたということで大変ありがたいと思っています。その要因はウォーキングと自転車とそれからマラソン、この3つが大きく増えていて、特にウォーキングが非常に増えています。環境にもよいし、健康にもよいと、こういった取組です。

#### >> 発言7

フードロスのお話をいただきました。食材切り、水切り、食べきりということで、お話をいただきました。食品ロスの問題は、非常に大きな問題だと思っていますので、楽しみながら、成果を見ながらやっていく、持続性を高めていくことがすごく重要なことだと思いますので、私たちもやり始めた皆さんがそれを継続できるような仕組みも含めて、市民の皆さんに御提案できるようにしていきたいなと思っています。

#### >> 発言8

白いものに替えて光を反射することで地球温暖化対策するというお話がありました。私自身はまだその辺は十分知識がないものですから、あまり具体的なコメントはできませんが、そういった違う視点からのお話をいただきました。

#### >> 発言9

熱中症対策ということで、これは待ったなし、特にどちらかというところエアコンの話は今までしていましたが、断熱材の影響はすごく大きく、断熱材をしっかり使用することで相当温度が抑えられる、これは低くなることも抑えられるし、高くなることも抑えられるということです。さいたま市の美園地区でモデル地区として整備されたスマートホーム・コミュニティでは、断熱材を活用していて、冬でもある程度の気温より下がらない、暑さも上がらないという家の中でエネルギーを活用していく事業を行っています。もちろん太陽光発電設備もつけることで、かなりエネルギーの消費が抑えられることをやっていますが、特に断熱材を活用することは非常に重要だと、見直されてきていますので、これを進めていければと考えています。

あと日陰をつくっていくことも非常に重要なことだと思います。

また、市民の皆さんに成果を見せていくことも重要だと思います。市内の電力消費量というのを話していただきましたが、これ実をいうとわからないのです。それでこれも今政令指定都市市長会議や、九都県市首長会議で国に対して提案をしています。電気の販売元が分散しているので、余計にわからない状況になっています。特に一番身近な基礎自治体でどのぐらい電力が使われているのか、なるべく早いタイミングでわかってこない自分たちがいろいろな努力をしてきたことがどのような成果に結びついたのでかわからないと、モチベーションが継続していかないと私自身も考えています。国でデータをとれる仕組みをつくっていただいて、市民の皆さんが努力をしていただいたことが成果として上がりましたということ、市民の皆さんとぜひ共有をしたいと思っています。

今まで以上にしっかりやりたいと思います。

#### >> 発言10



二酸化炭素だけではなくて、フロンであるとか、他の温室効果に大きな影響を与えるそういった物質についてももしっかり検討すべきだというお話をいただきました。まさにそのとおりだと思います。そういったことについても配慮して考えていきたいと思っています。

## >> 発言11

自転車のお話をいただきました。自転車のマイレージについては、スマートシティさいたまモデルの実証実験を行っている美園では、専用の活動量計を使用して、ウォーキングに加えて自転車走行の活動量を計測してポイントを付与する事業を実施しました。今後はウォーキングや自転車といった、環境にも健康にもよい行動へのインセンティブになることを検討していくことが必要だと私たちも思っています。日々の快適さ等を向上させながら両立できるようなことができればもっとよいのではないかと、これは本当にそのとおりだと思います。

## ●参加者

### < 発言12 >

コンポストの土後処理問題の話があったと思うのですが、各地区の環境センターで引き取ってもらえる仕組みをつくったらどうかと思います。

あと市民の意識改革というのが何回か出ていると思うのですが、ごみ処理施設の見学をしたことがあり、非常に覚えています。子どもに伝えても、紙ごみも雑紙も全部一緒に燃えるごみにしてしまうので、家庭でやるのはすごく難しいと思っています。雑紙のホチキスの芯をとるといような具体的なことも、授業の一環で小中学生に必須科目としてごみ処理施設の見学をレポートするような、五感で体験する経験が必要だと思いました。

あとフードロス問題も何回か出ていると思うのですが、食材救済レシピのワークショップを開催してもよいのではないかと思います。四、五年前に一度やったのですが、賞味期限が近い食品を各自持ち寄って、料理研究家の方がレスキューレシピをその場で考案してくださる、そういった内容を皆でシェアするのも面白いのではないかと思います。

あと私は桜区環境センターをよく使っています。3Rマーケットで衣類などを過去100点以上出したヘビーユーザーなのですが、コロナの前はいつ寄附しても受入れてもらったのがコロナ禍で完全予約制になってしまったのが非常に残念です。コロナ禍では仕方がないのですが、5類に引き下げられた今現在もいまだ完全予約制が続いています。それがとても不満です。3Rマーケットをコロナ禍前のシステムに戻してほしいですし、寄附品の搬入が予約不要にもらえるとう友人にも勧めやすいと思います。

片づけしていてその場の思いでそのまま寄附にいこうというストレートなりサイクルの仕組みにもなりますし、今は受け取るシステムもイベント時のみになっているのがつまらないです。寄附したその日にその場で持ち帰りができること自体が私は3Rマーケット利用をする楽しみだったので、戻してほしいと思っています。

あとお風呂を利用している方に環境センターの取組について知ってもらう機会を取りこぼしているのも、非常にもったいないと思います。たくさんの方が訪れているのに1階や2階には立ち寄っていません。特に1階の3Rディスカバリーハウスやさくらラウンジの活用がないのもったいないと思います。ロビーコンサートなど定期的に開催してはどうかと思います。

### < 発言13 >

資源ごみに関する情報の提供が遅いという非難の声がありましたが、私はこれを見て、うちでもできてないなと思いました。資源ごみを出す袋に記載するのはすごくよく、袋の形だから、ただ捨てる人はいないと思うのです。ここに書いてある内容はすぐにできると思うので、もう1か月以内でも、さいたま市民に全戸配布したらどうでしょうか。それだ

けをお願いしたいと思いました。

#### <発言14>

先ほどのフードロスの話も出ていましたが、フードバンクを含めて、スーパーで売ることができないような農作物、規格外のものを施設などで安く引き取ってもらい、施設で無料提供してもらって活用すれば、地産地消の観点からも、決して無駄にならないと思います。それから、施設の運営についても役に立つと思いますので、地域の中でそういう結びつきができるように運んでもらうとよいと思います

2つ目に私はかつて東京で環境関係に関わっており、役所の中でISO14001をとりました。これは全国5番目くらいで、私は1番目になりたかったのですが、5番目でした。そうすると毎年見直しをやっていくことになるので、さいたま市でもこういう環境関係の計画を立てられたら、毎年見直しをして住民に知らせてほしいです。ここまでできましたのでもう少し頑張りましょう、という働きかけ、このやり方もあるかなと思っています。

それから、生活のところで極めて不自然だと思っているのが、今この暑い時期に就職活動をやっている学生さんがリクルートスーツを着ています。これは異常だと思います。そういうところを、市長はいろいろな場があるでしょうから、もう少し何とか負担を軽くしてやろうよという発言をしてほしいなと思っています。季節に逆らうことをやるのは異常だと思います。自然に適応した格好で皆が生活していくことが大事だと思っています。そういう生活を営んでいった方がよいと思っています。

#### <発言15>

生ごみのコンポストですが、うまく回るシステムをつくってあげればよいと思っています。公民館をうまく使って、コンポストで作った肥料を、緑のさいたま市緑基本計画の改訂もあるし、近くに見沼たんぼなどの緑地で肥料として使ってあげればよいのではないかと思います。

新座市でもうまく回しているのので、参考にさせていただければよいと思っています。

#### <発言16>

皆さんの御意見を聞いていますと、これからの老人は救われるような思いがしました。それは、若い方の御意見を聞いてほっとしたこと、それから街路樹を非常に大切にされた方がよいという意見があった、その街路樹の下に老人のため、私のために椅子をたくさん設けていただきたいと思っています。

私は沼影の市民プールの近くに住居を構えていて、さいたま市の一貫校をつくるということで、さいたま市民プールがなくなってしまうました。田島通りの観音様のところも通路が非常に狭いのですが、その脇にある民間会社の寮が今取り壊されています。田島通りの道路を広げるために、寮が取り壊された土地を何とか確保していただきたいなと思っています。それは、私は要介護2と認定されていて、施設に行く途中の観音様の道路が非常に狭く、運転手さんが苦勞しています。私事とは言え見ていただけません。そういうことに税金を使用するのは我々の生きがいだと思っています。大変私事になりましたが、お願いします。

### ◆市長

#### >>発言12

コンポストのお話ですが、堆肥を引き取ってもらえる仕組みをつくっていくことができれば可能ではないかということです。私たちも今後検討していきたいと思っています。

それから、ごみ処理施設の見学を含めて五感で子どもたちに感じてもらえるような環境

教育が重要ではないかという御意見がありました。本当にそのとおりだと思います。私たちも民間の企業の皆さんにも御協力をいただいて、子どもの夏休みの期間に施設見学ができる施設を登録してもらい、今20箇所ぐらいになっています。身近にたくさん事業所や工場があります。いろいろな御家庭や、いろいろな団体の皆さんにも呼びかけて、活用してもらうことも非常に重要だと、お話を聞いていて改めて感じたところです。

それから、3Rマーケットの件については、これはいろいろ具体的な御意見がありましたので、また検討していきたいと思います。

#### >> 発言13

私たちも皆さんから大変具体的な素晴らしい意見がたくさん出たと思っています。一個一個いろいろな課題はあるかもしれませんが、課題を乗り越えながら実現できる方策を検討していきたいと思います。

#### >> 発言14

ISO14001のように毎年見直しをしていくような、そして市民に発表する仕組みをつくってほしいというお話がありました。これは本当にそのとおりだと思いますし、皆で努力した結果がどうなったのかを公表し知っていただく循環をつくっていくことが、市民の皆さんにより関心を持っていただくためにも大変重要なことだと思います。

就職活動のスーツの件は、そういった自然に適應した生活はすごく重要なことだと思います。おかしいことには声を上げていきたいと思います。

#### >> 発言15

コンポストの関係で御提案をいただきましたので、新座の例を挙げていただきましたが、実施ができている自治体の例を参考にさせていただきながら考えていきたいと思います。

#### >> 発言16

今さいたま市のまちづくりとしては、ウォークアブルなまちをつくっていこうと進めています。その際には歩道を広げることもありますし、あと街路樹をもう少し緑があるところは結構あるのですが、駅前周辺を含めて少し少なくなってきた部分もありますので、そこも充実を図っていく必要があると思っています。そしてお話にあるとおり、これから高齢化の時代にもなるので、その歩道などで少しお休みができるような空間もつくっていきたくて考えています。そういった整備ができる広さがある歩道が、まだそれほどたくさんはありませんが、できるところから少しずつ進めていければと思っています。

田島通りのお話については、今後検討させていただければと思います。

今日は大変皆さんには貴重な時間をいただいてこうしてわざわざこの場に来ていただいて、いろいろな皆さんの考え、また思いについてお話をいただきましたこと心から感謝と御礼を申し上げます。

冒頭でもお話ししたとおり、市民の皆さんにいろいろな形で参画をしていただかないとこの地球温暖化の問題というのは、行政だけがやってもとても効果が上がるようなものではありません。皆で協力をし合って、そして皆が責任を持って少しでも前に進めていく、そういった意識が重要だと思います。

皆さんからいただいたいろいろな具体的な提案など私たちもしっかりと受け止めさせていただきながら、今後できるところからしっかり前に進めていければと考えていますので、今後ともよろしく願いいたします。

大変貴重な御意見たくさん聞かせていただきましたことを心から感謝を申し上げまして、

私からのまとめの御挨拶にさせていただきます。どうもありがとうございました。

#### ■補足説明

##### 「高校、大学レベルの環境教育」について

本市では、市民の皆様が開催する集会や会合、学校の授業などに、市の職員が出向いて市の施策や制度、事業等について分かりやすく説明する「出前講座」を実施しています。この出前講座の中には、地球温暖化対策に関するものも含まれており、学校でも、もっと活用いただけるよう、周知等図ってまいります。出前講座を通して、学生の意識を図っていきたいと考えております。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

##### 「自治会や管理組合の場を通じて情報の提供と協力依頼を発信すること」について

これまで通りの継続的な広報誌やホームページへの掲載だけでなく、SNSや出前講座といった媒体の活用や自治会等ともこれまで以上に密に連携を取り、自治会を通じた情報提供も視野に入れて、ゼロカーボンシティの実現を目指します。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

##### 「道路に木を植えること」について

街路樹のあり方については、「さいたま市街路樹維持管理基本方針」に基づき、自治会や地元のみなさまとの調整を行いながら、検討してまいりたいと考えております。

(建設局 土木部 道路環境課)

##### 「週に1回以上スポーツをする人の割合」について

市民（成人）の週1回以上のスポーツ実施率

- ・平成15年度 28.5%（市民調査）
- ・令和2年度 66.6%（総合振興計画市民アンケート） 18歳以上対象
- ・令和3年度 70.6%（総合振興計画市民アンケート） 18歳以上対象
- ・令和4年度 69.9%（総合振興計画市民アンケート） 18歳以上対象

(スポーツ文化局 スポーツ部 スポーツ政策室)

##### 「学校の屋根や体育館はぜひ白くして」について

いただいたご意見につきましては、今後の学校施設の管理において参考にさせていただきます。貴重なご意見ありがとうございます。

(教育委員会 管理部 学校施設管理課)

##### 「白い車が、他の色の車と同じ値段で買えるように補助を」について

景観などにも配慮する必要があります。頂戴した意見含め、総合的に判断しながら決定していきます。費用対効果にもよりますが、白いからというだけの理由で、補助金を出すのは難しいと考えます。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

##### 「比較的短期間で成果がわかるようなもの」について

将来的に市内の温室効果ガス排出量削減の見える化を実現しようと動いているところでございます。実現できれば、日々の脱炭素化の取組の効果を可視化できると考えております。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

#### 「駅前に駐輪場が増えてほしい」について

大宮駅周辺では、市営大宮駅東口大門町自転車駐車場、市営大宮駅西口桜木町自転車駐車場に比較的空きがありますので、よろしければご利用ください。しかしながら、ご意見のとおり大宮駅周辺は駐輪場の利用ニーズが高いため、引き続き民営駐輪場の設置に対する補助金制度等を活用し、駐輪場を確保してまいりたいと考えております。

(都市局 都市計画部 自転車まちづくり推進課)

#### 「食材救済レシピのワークショップ」について

令和元年度には食材をおいしく食べきる、エコクッキングの料理教室を官民連携で開催しました。今後も効果的な普及施策を検討してまいります。

(環境局 資源循環推進部 資源循環政策課)

#### 「桜環境センターの3Rマーケット」について

予約制以前は、リサイクル困難なものが多く対応に苦慮していましたが、予約制の導入により、リサイクル可能なものが多くなったため、予約制の廃止は考えておりません。

(環境局 施設部 環境施設管理課)

#### 「桜環境センターでロビーコンサートなど定期的を開催すること」について

コンサートの利用者と余熱体験施設の利用者が、決して広くはないロビーに混在することになり、安全性の確保に懸念が生じるため、イベントの開催は考えておりません。

(環境局 施設部 環境施設管理課)

#### 「規格外の農作物を施設などで安く引き取ってもらう、施設で無料提供してもらって活用」について

今後の施策運営の参考の一つとさせていただき検討してまいります。

(環境局 資源循環推進部 資源循環政策課)

農産物の規格外商品の引き取りは、フードロス対策として、大変重要な取組と考えております。今後は、生産者や事業者等と連携を図り取り組んでまいりたいと思います。

(経済局 農業政策部 農業政策課)

#### 「自然に適応した格好で皆が生活していくことが大事」について

市ホームページで熱の放散を助けるため、服装の工夫をするよう記載をし、熱中症対策を呼び掛けています。

(保健衛生局 保健部 保健衛生総務課)

#### 「施設に行く途中の観音様の道路」について

ご指摘の道路は田島通りではなく、田島通りに交差する生活道路となります。また、田島通りは都市計画道路大谷場高木線としての計画はございますが、道路整備計画に位置づけがないため、道路整備については未定となっております。

(建設局 土木部 道路計画課)

#### 「電気乾燥機の生ごみ処理」について

電気式の生ごみ処理機については、コンポストのようにごみが堆肥化されて再利用できるようになる訳ではありませんが、生ごみを乾燥させることで、焼却時間の短縮が可能なため、CO2の削減には貢献できているかと思われます。

(環境局 資源循環推進部 廃棄物対策課)

#### 「健康マイレージ」について

令和5年12月にさいたま市健康マイレージのリニューアルを行いました。新しい健康マイレージでは活動量計での参加は廃止となりアプリでの参加のみとなりますが、その分、記録した歩数を距離に換算することでゴールを目指す路線図ウォークなどといったゲーム感覚で楽しめる機能が充実しています。高齢者のスマートフォン保有率も年々上がっていますので、環境活動や健康事業と連携した取組を検討してまいります。

(保健衛生局 保健部 保健衛生総務課)

#### 「スポgomiについて」

スポGOMIにつきましては市の事業ではありませんが、環境美化の観点から有意であり、連携に向けた諸条件が整えば連携を検討してまいります。

(環境局 資源循環推進部 資源循環政策課)

#### 「さいたま市から日本の温暖化対策を引っ張るくらいの気持ちで」について

さいたま市は第1回脱炭素先行地域に選定されるなど、脱炭素社会の実現に向けて先行的に脱炭素の実現を目指しております。

(環境局 環境共生部 脱炭素社会推進課)

#### 「資源ごみに関する情報の提供」について

予算の都合から全戸配布は難しいものと考えますが、イベントや集会の場等で配布を行い、積極的に周知していきたいと思っております。

(環境局 資源循環推進部 資源循環政策課)